

夏特有の“山”と“海”の「毛穴熱風※」があることを発見 「毛穴熱風」の直撃が肌老化の要因になることを確認

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：鈴木弘樹）は、日本気象協会との共同研究により、夏の毛穴の開きに関わる気象環境を都道府県別に調査しました。その結果、日本には毛穴を開かせる夏特有の“山”と“海”から吹きこむ2種類の熱風があること、また、この熱風の影響により毛穴面積が約2倍になることを発見。この熱風を「毛穴熱風」と名付けました。この結果は、全国47都道府県で、4年間(2010年1月1日～2013年12月31日)に集めた女性の肌データの分析結果及び、同時期の気象データをもとに分析したものです。

※毛穴熱風とはポーラの造語です

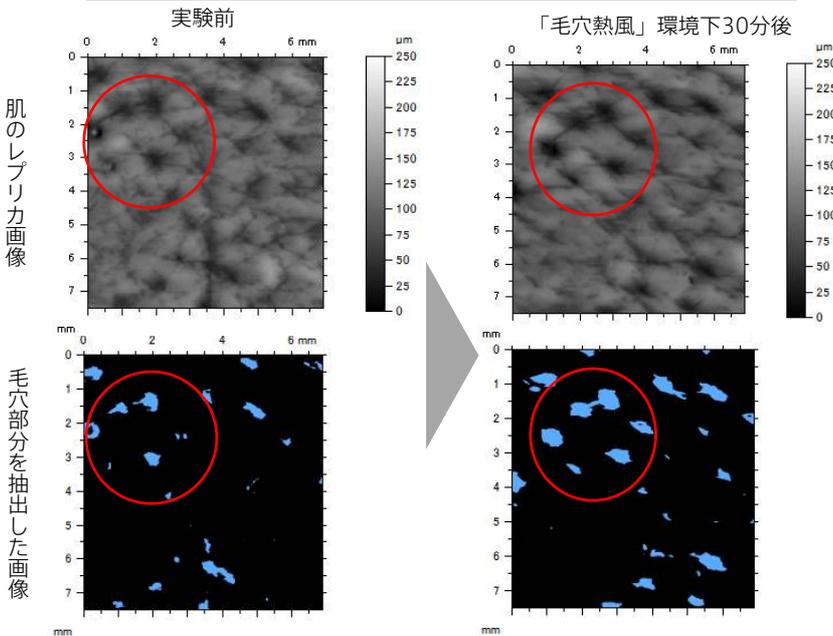
新発見

「毛穴熱風」の影響で毛穴面積が約2倍に拡大

「毛穴熱風」にわずか30分あたるだけで、毛穴の面積があたる前の約2倍に拡大していることを実験により確認しました。また、毛穴が開いた状態の肌ではキメが乱れていることも確認できました。

「毛穴熱風」にあたる前後での毛穴の状態の比較

※実験 n 例中の顕著な例 n=5



■実験概要

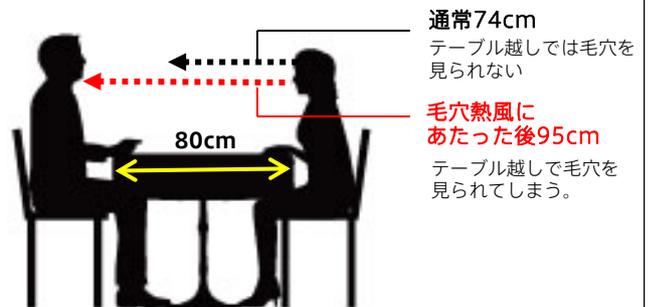
温度27～30度、湿度80～90%の夏の高温多湿下を想定した空気に、顔のみ30分間あて、前後の毛穴の状態を確認しました。

※頬のレプリカを三次元レーザー解析装置(LIP-50)で解析。
Tallymap platinum6.2で画像処理したもの

毛穴熱風に当たった後では、通常の距離+21cmの離れた所からでも毛穴を確認

「毛穴熱風」にあたる前後での女性の頬の毛穴面積の変化について、視力1.0の男性に、どの位の離れた距離から毛穴を確認できるかを測定。

その結果、毛穴を確認できた距離は、「毛穴熱風」にあたる前（通常の状態）は74cm、「毛穴熱風」にあたった後は95cmで、通常より21cm離れた所からでも毛穴を確認できることが分かりました。
一般的なテーブル（約80cm）越しに男女が向かい合って座っている場合、通常は毛穴を見られる心配はないが、「毛穴熱風」に当たった後では、毛穴を見られてしまうことになります。



※男性n=4、女性n=3の実測値 ポーラ アンチエイジング美容研究室調べ

【報道関係のお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ 宣伝部 TEL 03-3494-7119 / FAX 03-3494-6198 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3

毛穴を目立たせる、山の「毛穴熱風※」と海の「毛穴熱風」

■山の「毛穴熱風」 ※風上に山がある地域は注意

湿った空気が山を越えるときに雨や雲として水分を減らし、乾いた空気が山を下ることで山の風下側で気温が上昇すること（フェーン現象）により、毛穴が開いてしまいます。

福島県・栃木県・群馬県・埼玉県・岐阜県・福井県・滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・福岡県・佐賀県

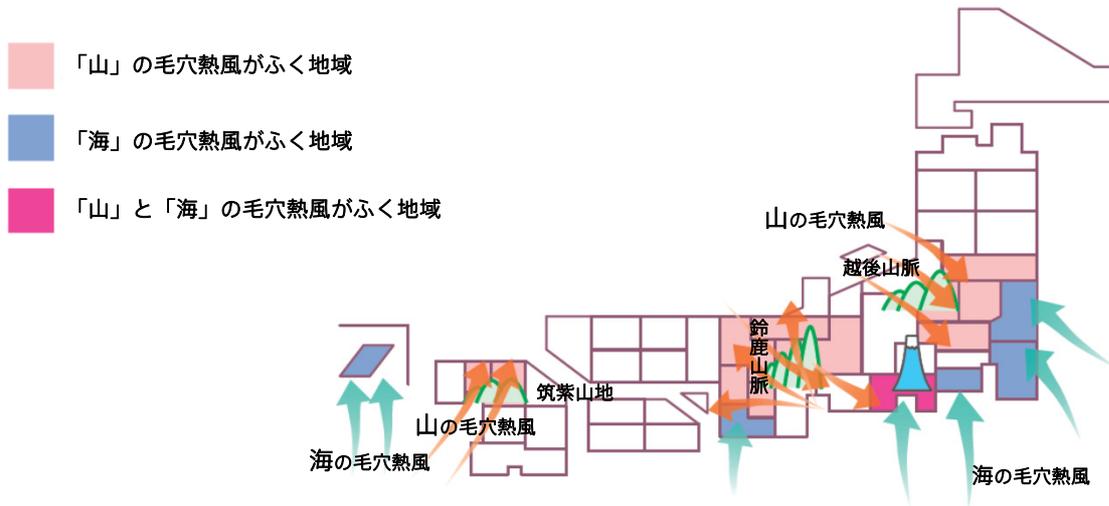
■海の「毛穴熱風」 ※海からの強い南寄りの風がある地域は注意

南寄りの熱気を含んだ海からの強い風により、一気に湿度の高い熱い空気が押し寄せることで、毛穴が開いてしまいます。

茨城県・千葉県・神奈川県・和歌山県・沖縄県

■山と海の「毛穴熱風」 ※富士山のふもと（静岡県）には2つの毛穴熱風が存在する

富士山のふもと静岡では、午前中は山の毛穴熱風、午後は海の毛穴熱風が吹くことが分かりました。47都道府県中、静岡は夏場最も毛穴の開きが目立つ県でした。(2012年47位、2013年46位 *5~9月データ) ※毛穴熱風とはポーラの造語です



「毛穴熱風」で開いた毛穴の対処法&毛穴を目立たせないためのメイク・生活アドバイス

冷たいおしぼりで肌を冷やさず、乳液でファンデーションをオフするのが効果的

熱風によって開いた毛穴を冷やすと、毛穴が小さくなる…と誤解している人も多いのですが、ファンデーションや日焼け止め等を塗っている場合は、冷やしても毛穴は小さくなりません。逆に、開いた毛穴部分にメイクが落ち込み、開いた状態で固定されてしまいます。

毛穴が気になるからといって、冷たいおしぼりを肌に当てるのは返って毛穴を目立たせてしまいます。

毛穴が開いてしまった場合の正しい対処法は、毛穴が目立つ部分のメイクを乳液を含ませたコットンでオフするのがおすすめです。開いた毛穴に入り込んだメイクを取り除くと同時に、肌がやわらかくなり、キメがふっくらと整うことで毛穴が目立たなくなります。

毛穴を目立たなくするメイクテクニック

■メイクの前にうるおいをたっぷり整える

夏場は汗で潤っているように感じますが、冷房などで肌の内部は乾燥していることも。乾燥によってキメが乱れると毛穴が目立つ原因にも。夏こそ化粧水と乳液でたっぷりうるおいを与えることが大切です。また、毛穴用ケア品で角層を引き締めてからメイクを行うのもおすすめです。

■毛穴が気になる部分はファンデーションの量を少なめに

毛穴を隠したいからといって厚塗りするのは、化粧崩れの原因になります。

隠したい部分は、逆に薄く仕上げるのがポイントです。ファンデーションは頬を軽く引っ張りながら、毛穴に対してあらゆる方向にパフや指を動かして、丁寧に塗り込むことで毛穴を自然にカバーできます。

毛穴を目立たなくする生活習慣のアドバイス

■ぬるめのお湯(38~40℃) につかる

ストレスが毛穴を開かせる原因に。ぬるめのお風呂に入ると副交感神経が優位になり、ゆったりした気分。さらに、入浴により肌が柔らかくなり、毛穴につまった皮脂が出やすい状態になります。

■皮脂分泌をコントロールするビタミンB₂を含む食材を食べる

過剰な皮脂の分泌をコントロールするにはビタミンB₂を含む食材（牛乳・卵・納豆）を摂りましょう。また抗酸化成分が豊富な野菜や果物を食べるのもおすすめです。

女性は“夏”に歳をとる！？ 「頬の毛穴の開き」は夏の暑い時期が一番目立つ

女性が歳をとるのは“誕生日”ではなく“夏”だともいわれています。強い日差しや暑さによる夏バテ、生活の乱れなどで体の内外からダメージを受けていることが考えられます。

また、肌にとっても夏は厳しく、強い紫外線の影響による「シミ」や乾燥だけでなく、「頬の毛穴の開き」は夏が最も目立つことが分かりました。この夏の「頬の毛穴の開き」も肌老化の一因となっています。

